

令和5年1月5日 市長記者会見 会議録

- < 開催時間 > 14:00～
- < 会場 > 庁議室（市役所本館3階）
- < 会見案件 > 新春の抱負について
- < 出席者 > 市長、副市長、総務部長、都市整備課長、新幹線整備課長、新幹線プロモーション課長、おもてなし観光推進長

< 発表内容 >

【福井市長】

新年あけましておめでとうございます。本年も、よろしくお願いいたします。

さて、今年の干支は卯（う）です。うさぎは坂を駆け上ることが得意です。新幹線福井開業を控えたこの1年が、勢いよく坂を駆け上がるかのように、本市にとって飛躍の年となるよう、全力で市政運営に取り組んでまいります。

それでは、令和5年の年頭にあたりまして、新春の抱負を申し上げます。

まず、北陸新幹線福井開業に向けた取組についてです。現在、令和6年3月の福井開業に向け、福井駅周辺において、様々な工事が進められています。新幹線の駅舎は昨年8月に完成し、11月には見学会を開催しました。多くの市民の皆さまに参加していただき、その関心の高まりを実感しているところです。また、駅舎と一体的に建設する福井市観光交流センターも、今月末には完成します。私も、現場を見学し、新たな福井の玄関口に胸が躍るとともに、万全の態勢で開業を迎えられるよう、準備の総仕上げに向け決意を新たにいたしました。

駅周辺における再開発事業については、駅前電車通り北側のA街区の工事が順調に進んでいます。一方、B街区及び南通り地区では、近年の急激な資材価格高騰や新型コロナの影響により、事業計画の見直しを行っているところです。本市といたしましては、一日も早い完成に向けて、組合に対し引き続き支援していきたいと考えています。

また、電車通り南側、新栄エリア、中央1丁目、3丁目、浜町や愛宕坂などでは、県都にぎわい創生協議会において創設した「県都まちなか再生ファンド」の活用が進んでいます。引き続き、県と協力して民間投資を後押しし、新幹線開業効果をしっかりと受け止められるよう進めてまいりたいと考えています。

アリーナ構想については、近く、アリーナ整備会社が設立される予定と聞いております。本市としても、東公園にアリーナが整備されることで、周辺のにぎわいや経済波及効果が期待できますので、今後、経済界において策定を進める基本計画の内容を精査し、地元の理解も頂きながら、県とともに応援していきたいと考えています。

次に、駅からの移動手段として、新幹線で福井駅に降り立った方が、目的地に鉄道やバスなどでスムーズに乗り継いで行けるよう、「ふくいMaaS」アプリの開発や、路線バスへの交通系ICカード導入などを進めたいと考えています。

また、まちなかのシェアサイクル「ふくチャリ」は、より気軽にご利用いただけるよう3月からスマートフォンのアプリを使った貸出を開始します。

次に、観光誘客やプロモーション活動についてです。

福井開業に向けた全国への情報発信や機運醸成などのプロモーションについても、これまで以上に積極的に展

開してまいります。

まず、今月の11日から、「福いいネ!くん de 福井の魅力発信大作戦」を実施します。「福いいネ!くん」が本市から東京までの北陸新幹線沿線都市を巡る旅に出て、各地の住民の皆さんと触れ合い、メディアを訪問し、福井の認知度向上やイメージアップを図ります。

3月24日、25日には、大野市・勝山市・永平寺町と連携した「開業1年前イベント」を実施します。イベントでは、新幹線関連の体験プログラムなどを企画しており、市民の方々と一緒に盛り上げていきたいと考えております。

また、3月には、毎年恒例の「ふくい桜まつり」に加え、ふくい桜マラソンの1年前プレ大会「ふくい桜マラソン TRIAL RUN 2023」を開催します。

足羽川の桜並木をはじめ、福井の春を象徴する桜の名所を、こちらの新たなポスターで大々的に PR してまいります。特に、3月13日から19日には、このポスターをJR東京駅八重洲口の中央改札付近に大量に掲示します。東京駅を利用するビジネス客や観光客、通勤・通学者など、多くの方が全国から福井にお越しいただく契機になることを期待しております。また、ヤフーのトップページのバナー広告や、全日空の公式サイトにおいて観光プロモーション動画を掲載するなど、本市の魅力を積極的に発信し、新幹線開業に向けて、誘客促進に確実につなげてまいります。

また、本市特産品のブランド化により「食」を通じた本市の認知度向上やイメージアップも重要になります。今月から地域商社「ふくいヒトモノデザイン株式会社」の福井市特産品販売部門に職員1名を派遣し、金福すいか・銀福すいかやオリーブをはじめとする本市特産品の新たな販路開拓などに取り組みます。

次に、新型コロナウイルス感染症対策と社会経済活動の両立についてです。

現在、第8波の最中にあり、年始後の更なる感染拡大が懸念されています。市民の皆さまには、引き続き、基本的な感染対策を徹底するとともに、体調不良時には外出を控える、受診をするなど、適切な対応にご協力いただくようお願いいたします。

また、新型コロナワクチン接種については、現時点で、国が接種期間を年度末までとしていることから、接種を希望される方は早めに接種をお願いします。本市としては、今後の国の動向を注視しつつ引き続き接種を推進し、市民の皆さまが安心して暮らせるよう、感染拡大の抑制に努めてまいります。

社会経済活動については、コロナ禍のみならず、ウクライナ侵攻や急激な円安などに起因する原油価格や物価の高騰などが市民生活に大きな影響を及ぼしています。

本市は、農業肥料購入緊急支援事業や子育て世帯に福井県産新米の購入支援券を送付した「福いいネ!新米応援キャンペーン事業」といった市独自事業をはじめ、原油価格・物価高騰への対応として、これまでに約37億円の補正予算を計上してまいりました。

引き続き、国・県の経済対策等の動向を注視しながら、必要な対策を、機を逸することなく、実施してまいります。

今年は、新クリーンセンター、新学校給食センター、北部地域新中学校、フットボールセンターの整備や図書館リニューアル事業などの大型公共工事が本格化します。市民生活に密着したこれらの事業について着実に進めてまいります。

さらに、デジタル化の推進による市民サービスの向上や、頻発する自然災害に備えた強靱な地域づくりを進めるとともに、子育て・教育環境の更なる充実、また、ゼロカーボンシティの推進などに取り組み、第八次総合計画に掲げる将来都市像「みんなが輝く 全国に誇れる ふくい」を目指してまいります。

市政をお預かりして4期目の仕上げの年です。100年に一度の好機を着実に捉え、本市にとって飛躍の年となるよう全力で取り組んでまいります。市民の皆さまにはより一層のご支援とご協力をお願いいたします。

私からは、以上です。

< 質 疑 応 答 >

【福井新聞】

12月で4期目の任期満了を迎えるということで、市長にとって、今年はどういう年にしていきたいかももう一度改めてお聞きしたい。

【福井市長】

今年が任期の最後の年になりますので、これまでの任期の部分、3期までの部分も含めて、しっかりとやっていかないと、最後でおかしくなってしまうわけにはいかないという思いが強くなります。

従って、最後までしっかりとやり遂げたい。その先の展開についてはまた、残りの任期の業務をやり遂げていく中で考えて参りたいと思います。

【福井新聞】

今の時点で5期目について考えていますでしょうか。

【福井市長】

まだ考えていません。

【日経新聞】

今のところの確認ですが、5期目はまだ考えていないというのは、ないともあるとも考えてないという理解でよろしいでしょうか。

【福井市長】

そういう理解で大丈夫です。

【日本経済新聞】

わかりました。それは今年1年の動きを見ながら5期目を考えるということでしょうか。

【福井市長】

今年1年も待つともう任期が終わってしまうので、それまでの間に、しっかりと考え方をまたお話させていただく機会が来ると思います。

【日経新聞】

わかりました。

来年の春には新幹線が福井まで来るという大事な年になると思うんですけども、先ほど市長ご自身も再開発の一部の遅れみたいなところで、市としても支援をしていくというお話がありました。具体的に考えていることはありますでしょうか。

【福井市長】

今、まだ計画を見直していただいている部分がありますので、その計画をしっかりとまた聞かせていただき、それに対して、福井市として何ができるか、もう一度再度整理しながら進めていきたいと思っています。

【日経新聞】

おそらくA街区以外は開業に間に合わないんじゃないかと思うんですけども、その状況をどのように見えていますでしょうか。

【福井市長】

これだけの大きなプロジェクトですから、なかなか計画通りに進むのは難しいのかなと思っています。まちづくりということで、短時間で成し遂げられるものではありません。もう少し全体を見て、長いスパンで物を見ていかなければならないというふうに思っています。

【日経新聞】

再開発自体は民間の動きになると思うんですけども、新幹線を迎えるにあたり、市として今後あと1年でやっていくべきことはどういうことになりますか。

【福井市長】

やはり、今ある観光資源や対外的にアピールできる食の強さなど、福井の良い部分をしっかりと見つめ直しながら、しっかりと発信していかなければならないと思っています。

【日経新聞】

どちらかというとハードというよりもプロモーションの部分ということですか。

【福井市長】

そうですね。ハード的な部分については今おっしゃったように、遅れている部分について、その遅れを取り戻すような動きが取れるかということそれはなかなか難しいので、ソフト部分について、いかにアピールしていけるかということに力を注いでいくという方向かなと思っています。

【中日新聞 成田】

観光プロモーションの福いいネ君が沿線各都市を回るキャンペーンやふくい桜まつり、ふくい桜マラソンのプレ大会、大野勝山永平寺など嶺北地域での1年前イベントなどあるということで、ソフト面でのPRに力を入れていくということだが、期待するところを改めてお聞かせください。

【福井市長】

イベントは、県外からのお客さんをいかにして来てもらえるかをベースに考えているが、福井の方にもアピールができて、地元の方の心にも響くようなものを打ち出したい。

【中日新聞】

市長が考えている福井の一番の魅力は何でしょうか。

【福井市長】

福井の一番の魅力について、以前から、ふるさと納税の返礼品などを考える段階からずっと悩んではいっていますが、やはり越前がにかなと思います。今年はシーズンも終盤に入るが、越前がにを食べていただきその良さ、食の魅力を理解していただきたい。

もう一つは、福井市には観光地がなく、何らかの観光に特化した部分があればと思っていたが、県の方で一乗谷朝倉氏遺跡に大きな博物館を造ったので、これをアピールして、お客さんにも楽しんでもらうことが必要だと思っています。また、もう一つの観光の目玉である恐竜について、福井市においてもいろいろな場所に恐竜を配置し、恐竜博物館との連携をとりたいと思っています。

【福井テレビ】

市長は年末年始をどのように過ごされましたか

【福井市長】

あまり言いたくはないのですが、少し膝の調子が悪く、まだはっきりと原因はわかりませんが、非常に歩きにくい状況だったのでしっかりと休養を取らせていただきました

【福井テレビ】

まちづくりの件で、県都まちなか再生ファンドの活用が進んでるという話について、リノベについては結構進んでいると思うのですが、建て替えについては、新年度から進んでいくのかなと思っています。現時点で市長が把握されている話はありますでしょうか。

【市長】

まだ、特に把握しているものはございません。

【福井テレビ】

改めて、新幹線開業に向けた総仕上げの年ということで 2023 年の抱負をもう一度お願いします。

【福井市長】

これまで北陸新幹線福井開業を目標に、長い期間かけてやってきた事業の総仕上げの時期ですので、しっかりと県外のお客さんにアピールしていこうと思います。また県内の方々にも、まだ気づいていない福井の魅力に気づいてもらえるようにしていきたいと思っています。

【福井放送】

バスのICカードや、Maas アプリなどの話がありましたが、福井市の中でも特に課題なのが、福井は車がないと観光客が観光地を周ることができない、ということかと思っています。2024 年の新幹線福井開業時には、どのような地域交通になっていると良いかと考えていますか。

【福井市長】

現在福井は、新幹線の駅や、在来線(JR)の駅では IC カードで乗降ができます。他の二次交通にも同じ IC カードが使えるということが重要になってくるのではないかと思います。JRに乗るときにはこの切符、他に乗るときにはこの切符、と分けた形で行われるのではなく、1 枚のカードで全ての決済ができるようになったらいいなと思います。その実現に向けて、県内の交通機関の決済のあり方を、IC カードに統一できないかと思っています。

【福井放送】

今おっしゃっているバスというのは、京福バスとすまいるバスのことですか。

【福井市長】

すべてのバスがICカードになると良いと思うのですが、初期投資等の問題もあるので、できるところからスタートしていきたいです。

【日経新聞】

重ねて、バスのICカードの件について、ICカードを導入すると、初期投資もそうですが、ランニングコストが非常にかかることが課題の一つかと思います。ランニングコストについては、市が継続的に支援をしていくのでしょうか。

【福井市長】

現在どこまで支援をしていくのか、最終的な形はまだ決まっておられません。もう少しお互い協議を重ねていく必要があると思います。高齢者の移動手段としてや県外からの観光客のためにも必要だと思っているので、可能な限り支援を行い、車がなくても移動しやすい環境づくりを行っていきたいと考えています。

【福井放送】

別件で、新幹線関連で、来年春に新幹線福井開業ということで、準備が着々と進んでると思うのですが、大阪延伸について、なかなか難しいという話が年末に伝わってきたかと思います。その件について、福井市としてのご所見をいただきたいです。

【福井市長】

北陸新幹線については、東京から大阪までが繋がって、初めて完成だと思っています。敦賀で止まってしまうのでは困ります。特に福井に住んでいる方々からすると、東京には行きやすくなったが、大阪や名古屋に行きにくくなるのでは、何のための新幹線開業なのかわからない部分もあります。ですので、敦賀から大阪までもしっかりとつながり、早く作り上げていくことが必要だと思っています。

【日経新聞】

なかなか難しいとは思いますが、福井市としてできることは何かあるのでしょうか。

【福井市長】

沿線の自治体との連携を強めながら、お話のできる部分について、しっかりと協議をしていくということが必要だと思っています。

【日経新聞】

別件で、プロモーションの話に戻るんですけども、例年この時期は桜をテーマに観光誘客されてて、以前は動画なども作っていたかと思うのですが、今年の勝算を教えてください。

【福井市長】

新幹線福井開業 | 1年前の予備段階として、桜マラソンを含む今年の各イベントは、全て重要になると考えています。

今年しっかりとイベントを成功させることで、来年の新幹線開業の際に、より多くの方に来ていただくことにつながると
思っています。

【広報課長】

他に質問がないようですので、これにて市長記者会見を終了いたします。誠にありがとうございました。